

1 事業の成果

新型コロナウイルス感染症対策に留意し、2022年4月～2023年3月の期間、以下の活動を行った。

1) 在日アフリカ人共生・協働事業

アフリカにルーツを持つ子どもたちが集う場として「アフリカンキッズクラブ」を運営し、多様なアフリカの文化に触れ、交流するイベントを実施した。また、保護者同士もつながり、相談し合う場を作り、継続的に情報交換を行った。「アフリカンユースミートアップ」はユースが主体的に運営し、交流会やイベントを実施したほか、大学での講演、SNSでの発信、映像制作を行い、自分たちの想いや経験、差別・偏見などの社会課題を伝えた。なんみんフォーラム、移住連、難民・移民フェス実行委員会などと連携して、アフリカからの難民・移民の人々への支援や情報提供を行うとともに、アフリカ理解を促進する活動を行った。

2) ネットワーク形成事業

TICAD-NGO 連絡グループの事務局を担い、4月のマルチステークホルダー会合への市民社会の呼びかけと参加、TICAD8 前の外務省と市民社会のオンラインでの意見交換のとりまとめを行った。国際保健分野では GII/IDI (*1) NGO 連絡会の代表を務め、政府（外務省）との定期的対話や「COVID-19 と援助に関する意見交換会」、テーマ別の勉強会を開催した。「新型コロナに対する公正な医療アクセスをすべての人に！」連絡会（以下「連絡会」）の事務局を担い連絡調整業務を行った。知的財産権や三大感染症に取り組む海外のネットワークと連携、協力した。

3) アフリカ調査・研究事業

アフリカの英語圏、仏語圏で保健活動を担うネットワーク団体と協力し、アフリカにおける保健 ODA プロジェクトのアンケート及びインタビュー調査を実施、成果を TICAD のサイドイベントで報告した。食料・農業に関する学習会を継続するとともに、国際機関や他の NGO と協力して「世界食料デー」月間に向けた啓発活動を行い、3回のイベントを企画・運営した。アフリカ熱帯林の課題について、野生生物保全および日本での啓発ツールとしてチラシを刷新し、情報提供を行った。

4) 政策・提言事業

グローバルファンドの第7次増資会合に向けて、アジア、アフリカを含むグローバルな市民社会のネットワークと協力し、同ファンドへの十分な資金拠出のための提言活動を行った。2023年に日本が開催国となる G7 に向けた市民社会のネットワーク Civil7 に参加し、保健分野の国内調整役を務めた。TICAD に向けてアフリカおよび日本の保健分野の市民社会の意見を取りまとめて政府に提出した。西サハラについて、他団体と協力した調査や情報提供を行った。

5) アフリカ理解促進

オンラインで2度の会員交流会を開催したほか、ウェブサイトの改定・更新を進め、活動に関連する情報を発信した。会報『アフリカ NOW』120号～122号を発行した。アフリカに関わるテーマでの講演や原稿執筆、メディアインタビューを通して、理解を広げた。

6) アフリカ支援事業

南アフリカから来日した研究者の講演会に協力し、記録を会報『アフリカ NOW』で公開した。南アフリカで行われた土壌のコミュニティ調査について、現地の市民社会と協力した。

7) その他

4つの常設委員会と1つの臨時委員会を開催し、運営面の改善に関する協議を行った。

*1 GII/IDI : 地球規模問題イニシアティブ (GII) 及び 沖縄感染症対策イニシアティブ (IDI)に関する外務省/NGO 懇談会

アフリカの政治的・経済的・社会的困難や環境破壊の危機などへのアフリカの人々の自発的な取り組みへの支援・協力のための情報収集・提供、ウェビナーの開催などを行う。

7) その他：上記事業を円滑に進めるため適切な事務局運営を行う。